

維新

急性期病床 20年度 229削減

大阪で何をやってきたか

コロナ感染全国最悪

■大阪府は急性期病床を229床削減(2020年度)

高槻赤十字病院(高槻市)	45床
大阪府済生会富田林病院(富田林市)	70床
道仁会道仁病院(寝屋川市)	7床
淳康会堺近森病院(堺市)	12床
医真会八尾リハビリテーション病院(八尾市)	60床※
愛和会新世病院(枚方市)	16床※
敬任会南河内おか病院(河内長野市)	28床※
尽生会聖和病院(大阪市)	21床※

※は回復期病床に転換

新型コロナ感染をめぐって頻りにテレビに出る吉村洋文大阪府知事。「よくやっている」と感じている人も多いでしょう。しかし大阪府は感染者も死者も全国最多(人口比)です。なぜか? 維新府政は全面的な検査に背を向け続けました。「医療崩壊を招く」という考えにとらわれ、逆に医療崩壊に。医療・保険体制の脆弱ぜいじやくさも深刻な事態を招いています。元維新代表の橋下徹氏は「大阪府知事時代、大阪市長時代に徹底的な改革を断行し、有事の今、現場を疲弊させたことがある」(20年4月、ツイッター)と認めました。

維新は医療機関の統廃合を進め、コロナ患者治療の中心となる急性期病床を、過剰病床だとして229床も削減。自民党府政時代に大幅削減された保健所体

保健所悲鳴

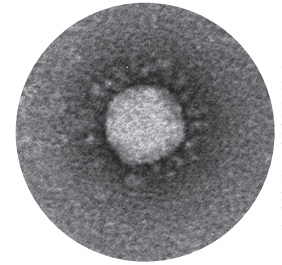
制(大阪市は一つ)を立て直そうとせず、保健師・職員は慢性的な過労状態に。電話相談に応じきれず、感染者の入力作業すら追いつかない状態になりました。

折り目

3回目ワクチン接種率最悪

検査うけられない

倒産・休廃業が急増



国立感染症研究所提供

命 まもる 包括策 示せ

新型コロナウイルスの変異株。オミクロン株の急拡大に伴って全国の患者数は1日当た



り10万人をこえました。強い感染力を持つ変異株の特徴を踏まえた包括的対策が必要です。

なりゆき任せ 岸田政権

3回目のワクチン接種は、先進国で最下位。2回目接種との間隔を「原則8カ月以上」とし続けたことが響いていません。ワクチン供給を急ぐべきです。

検査体制も自治体任せ。検査キットが不足し、希望者がすぐに検査を受けられません。資材の増産、調達や陽性者の保護が急務です。

救急車を呼んでも搬送先の病院がなかなか見つからない事案がコロナ前の5倍近くに増えています。

コロナ関連の経営破綻は累計で2800件超に。ところが新たな事業復活支援金は支給額が一昨年の持続化給付金の半分以下。増額する必要があります。

ワクチン接種、検査体制の確保、医療・保健所の体制強化、補償と生活支援など、感染の波から国民の命と生活、中小企業の営業を守る政策をパッケージで示すことが政府の責務です。

日本共産党

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます
参議院比例代
表は政党名で
も個人名でも投
票できます

近畿民報

2022年2月 No.3 (第493号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。